

子どもたちに 元気と笑顔があふれる

市では、東日本大震災や原発事故の影響により生じた学習環境の変化に適切に対応するため、特色ある教育活動を支援する「田村っ子の元気を支援する事業」を進めています。
今回は、26年度に行った市内16小学校の取り組みを紹介します。

菅谷小学校



5月27日にダブルダッチの世界チャンピオンチーム「カプリオール」を招いて、ダブルダッチ教室を実施しました。
2本のロープの中で、アクロバットのように逆立ちしたり、宙返りしたりするのを見て、子どもたちは驚きと歓声を上げていました。その後、ダブルダッチの跳び方を分かりやすく教えていただき、1年生も上手に跳ぶことができました。

広瀬小学校



今年は3つの事業を行いました。6月に「キツザニア東京」で思い思いの職業体験をし、9月にプロマジックを見る機会を設けました。「ドルフィンマジック」では、保護者と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。また、福島大学の岡田先生の「科学教室」では、科学遊びを通して自然の不思議さを満喫しました。
3事業とも子どもたちに笑顔があふれていました。

大越小学校



大越小学校では、1・2年生が小名浜方面へ、5・6年生が那須方面へ行ってきました。
3・4年生は冬にスケート体験を行います。
5・6年生は、那須の南ヶ丘牧場で自然との触れ合い体験をしました。特に好評だったのは、マス釣り体験です。自分の釣った魚を炭火で焼いて食べました。子どもたちは、普段なかなかできない体験に大喜びでした。

滝根小学校



1・4年生が昨年に引き続きアクアマリンふくしまに行きました。1・2年生は、蛇の目ビーチでウニやヒトデ、ナマコに触れ、アクアマリンならではの活動に歓声を上げていました。
3・4年生は、カニとインゲンチャク、ヤドカリとインゲンチャクなど、1枚の写真を見て、魚が身を守るためにどのようにしているか、というクイズ形式の学習に興味と関心を持って取り組みました。

古道小学校



古道小学校では、6月27日に全校生でスパリゾートハワイアンズに行ってきました。
ハワイアンズでは、縦割りグループに分かれ、大プールや流れるプールなどいろいろなプールで泳いだり、フラダンスショーを見たりして大いに楽しんできました。
思いっきり体を動かして、心身ともにリフレッシュすることのできた一日でした。

岩井沢小学校



9月26日、全校体験学習で「キツザニア東京」へ行ってきました。上学年と下学年がペアになって、やってみたい職業の疑似体験ができました。
子どもたちは、将来の夢に一歩近づくことができました。喜びと、働いて得たお金の大切さを実感することができました。
また、新幹線や地下鉄を利用し、都会の空気を肌で感じていました。

関本小学校



5月27日、西向小学校と合同で、ダブルダッチパフォーマンスチーム「カプリオール」(シルク・ド・ソレイユにも出演したチーム)の演技を鑑賞しました。彼らのパフォーマンスは、世界トップレベルで、大変見ごたえがありました。技が決まると大きな歓声が上がりました。子どもたちは指導を受けながらダブルダッチに挑戦し、どの子どもも楽しい時間を過ごしました。

常葉小学校



昨年度までは「陸上(走り幅跳び)」「ヒップホップダンス」「輪車」「なわとび」の専門家を講師として招き、体力と運動能力向上を目指した特別教室を実施しました。今年度は「ジャグリング教室」を加えて、身体表現力の育成も目指しました。
特別教室の実施後は、休み時間や放課後を利用して練習に励む子どもたちの姿が多く見られました。

西向小学校



5月16日に全校児童で石筵ふれあい牧場に行ってきました。動物と触れ合ったり、おもしろ自転車に乗ったりして思いっきり遊んできました。途中から雨が降ってきて、屋内施設で早めの昼食になりましたが、雨が上がる子どもたちも元気に遊びました。
10月には、スパリゾートハワイアンズでの活動、1月にはスキー・雪遊びと楽しみがいっぱいです。

芦沢小学校



「あしっこだキドキ体験活動・秋」として、1・4年生は、スパリゾートハワイアンズ、5・6年生はキツザニア東京で体験活動をしました。ハワイアンズでは、温水プールや滑り台ではしゃぎ、ビーチシアターでの火を使った技に驚いていました。キツザニアでは、ハンバーガーショップや警察官など、いろいろな職業を疑似体験し、忘れられない一日になりました。